

10

人事課

(分類 A. 1. 1. 0. 21- 1.)

機密公第四五八號

昭和六年十月十日

在長春

領事 田代重



外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

齊齊哈爾領事館奉安ノ御眞影並ニ重要書類  
保管方報告ノ件

時局ニ際シ齊齊哈爾領事館奉安御眞影並ニ重要書類保管方同館長ヨリ  
依頼アリ九日以降當分ノ間當館ニ安置並ニ保管方取計ヒタルニ付爲念  
報告申進ス

本信寫送付先 齊齊哈爾

在長春日本領事館

記録係 海洲日文字術室 昭和六年十月十日  
在留邦人保護係 引揚子係

昭和六年拾月拾九日接覽

6 1.1.1.0-8 3630 0043 (記)

REEL No. A-0077



アジア歴史資料センター

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

大臣  
次官

電信課長

分類 A. 1.1.0.21-1)

昭和6一五八六二 暗 哈爾濱 十三日後發  
本 省 十月十三日後着 亞

幣原外務大臣

第三三三號

齊齊哈爾發本官宛電報

合第二六號

大臣へ電報アリタシ

第六四號

當地及昂々溪方面時局切迫ノ模様アルニ付當館館員家族全部及引揚  
ヲ見合セ居リタル在留民家族一二ヲ除キ昨十二日本邦其他ニ引揚ケ  
タリ昂々溪在留者家族八十日全部引揚濟當地在留鮮人ニ對シテハ任

S 1.1.1.0-8

3632

0045

外務省

記録簿

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

大臣  
次官

電信課長

分類 A. 1.1.0.21-1)

昭和6一五八六一 略 哈爾濱 十三日後發  
本 省 十月十三日後着 亞

幣原外務大臣

第三三〇號

齊々哈爾濱領事館員及在留民ノ家族婦女子二十四名十三日朝着哈シ其  
内三名ヲ除キ他ハ日本又ハ朝鮮ニ向ケ南下シタリ  
奉天、安東、長春、齊々哈爾濱ニ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

3631

0044

外務省

記録簿

意引揚方申渡シ貧窮者ニハ哈爾賓迄ノ旅費トシテ哈大洋七百四十元  
ヲ給シタリ  
管内其他地方平穩  
哈爾賓ヨリ奉天ニ轉電アリタシ  
奉天、哈爾賓、滿洲里ニ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8 3533 0046

電報  
九月十六日午後  
大橋總領事

寫

編者附言

多者  
A. 6. 1. 2. 5.  
滿洲里ノ考  
際スニ滿蒙雜  
運初因係一併  
中一ア

昭和6 一六二三一 暗 哈爾賓 十五日午後發  
本 省 十月十六日後着  
幣原外務大臣  
第三四五號  
齊齊哈爾發本官宛電報  
合第三四號  
大臣へ電報アリタシ  
第七二號 (十四日後)  
張海鵬軍江省ニ進出ノ報十四日午後當地ニ傳ハルヤ市民俄ニ動搖シ  
始メタルモ間モナク政權ノ移動平和裡ニ行ハレントスル模様見ヘタ  
ル爲末々憂フヘキ混亂狀態ニ陥ルコトナントハ斷言ハシ難キモ只今

外務省

6. 10 S 1.1.1.0-8 3534 0047

は( )

ノ分(午後九時)ニテハ先ツ左シタルコトナクシテ張軍ノ入城迄持  
耐ヘ得ル見込ナリ發留邦人五十四名ハ引揚ヲ<sup>見</sup>意合セ領事館ト滿鐵公  
所ニ避難シ朝鮮人ハ十四日中ニ百十二名引揚ケ發留者ハ市内二個所  
ニ集中中

哈爾濱ヨリ奉天ニ奉天ヨリ朝鮮總督府ニ轉電ヲ請フ  
奉天、滿洲里、朝鮮總督ヘ轉電セリ

外務省

6.10

S 1.1.1.0-8

3635

REEL No. A-0077

0354

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

昭和6

暗

哈爾濱

本 省 十月十六日 後着

亞

大橋總領事

第三四七號

齊々哈爾濱發本官宛電報

合第三六號

大臣へ電報アリタシ

第七四號

當地昨十四日以來謠言盛ニ行ハレツツアル折柄昨夜ヨリ今朝ニ亘ル  
駐屯軍ノ克山訥河方面へノ退出ハ我飛行機ノ來襲及侵入軍ノ入城南  
前ニ起リ陸ナル掠奪暴行ノ發生ヲ恐ルル市民ノ避難ト相俟チテ一般市

民ニ非常ノ衝動ト不安ヲ與ヘ當地ノ治安ハ一時憂フヘキ事態ニ陥ラ  
ンカト氣遣ハレタルモ今朝十時頃ニ至リ幾分人心落着ヲ示シ來リ店  
舖モ三分ノ一ハ開店セリ

當地存留内鮮人異狀ナシ管内地方ハ左シタルコトナキ見込

哈爾濱ヨリ公使、北平、奉天、吉林へ電報アリタシ  
支、北平、奉天、哈爾濱、吉林、滿洲里へ電報セリ

S 1.1.1.0-8

3637

S 1.1.1.0-8

3636

0048

REEL No. A-0077

アジア歴史資料センター

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

次大臣  
官

電信課長

(分類 A.1.1.0.21-1)

三五二號

昭和6 一六三〇八 暗

哈爾濱 本省

十六日後發 十月十六日後着

亞

幣原外務大臣

大橋總領事

十六日朝齊々哈爾ヨリ當地ニ避難シ來レル者日本人三十九名鮮人廿四名昂々溪ヨリノ者日本人八名アリ此等日本人ハ差當リ當地正金囊避難所ニ收容シ鮮人ハ鮮人民會ニ於テ世話スルコトトナセリ齊々哈爾殘留ノ者ハ領事館及滿鐵公所員等併セテ日本人男子十一名昂々溪ニ殘留セル者女二名(共ニ支那人ノ妾)アリト云フ尙避難者ノ談ニ依レハ十五日午前六時洮南ヲ發シタル張海鵬軍カ江橋ニ達スルヤ同十時頃同地ヲ守備セル齊々哈爾軍ハ同所鐵橋ヲ破壞シタル爲張軍ノ

S 1.1.1.0-8

3539

0050

記

外務省

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

次大臣  
官

電信課長

(分類 A.1.1.0.21-1)

三五〇號

昭和6 一六三〇〇 略

哈爾濱 本省

十六日後發 十月十六日後着

亞

幣原外務大臣

大橋總領事

齊々哈爾發本官宛電報合第三八號  
大臣へ電報アリタシ  
第七六號  
時局切迫ノ徴アリ前途見極メ付キ難キニ付十五日午前七時在留日鮮人ニ對シ引揚命令ヲ發シタリ但シ本官及館員一部ハ今暫ク居残り様子ヲ見ル積リナリ  
支、北平、奉天、哈爾濱、吉林、滿洲里ニ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

3638

0049

記録簿

外務省

寫送先

會計 文書 人事 文化 情報 條約 通商 歐米 亞細亞

大臣 次官

電信課長

類 A.1.1.0.21-1.)

昭和6 一六三一〇 暗 哈爾濱 十六日後發  
 幣原外務大臣 本省 十月十六日後着 亞

第三五六號  
 齊齊哈爾發本官宛電報合第三九號  
 外務大臣へ電報アリタシ  
 第七七號  
 十五日晩引揚者日人四十名 鮮人九十七名 殘留者日人領事以下十二名  
 鮮人六十名  
 哈爾濱ヨリ往電第七六號ノ通轉電アリタシ  
 奉天ヨリ總督府へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-8

3541

0051

記録付

進軍ニ齟齬ヲ來シタルモノノ如ク他面齊々哈爾軍ハ之ヨリ先張軍ト  
 ノ衝突ヲ避クル爲克山泰安鎮ニ移動ヲ開始セル處偶々在黑河騎兵第  
 一旅長馬占山ヨリ原地復歸ヲ命セラレ歸來セル爲齊々哈爾省城ノ爭  
 奪戰免レ難キモノト認メ清水領事ヨリ一般在留民ノ引揚命令アリ前  
 記ノ如ク引揚ヲ實行スルニ至レリト云フ  
 公使、北平、奉天、吉林、長春、齊々哈爾、滿洲里、朝鮮總督へ轉  
 電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

3540

大臣  
次官  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
會計  
會社

電信課長

寫送先

(分類 A. 1.1.0.21-1)

昭和 一六三五九 暗

本 哈爾濱省

十月十七日後着

亞

幣原外務大臣

第三五七號

齊々哈爾濱領事館署員以下在留邦人十三名鮮人廿二名十七日朝當地ニ引揚ケ來リ館署員ヲ除ク他ハ不取敢正金裏避難所へ收容セリ尚齊々哈爾ニハ鮮人約四十名殘留シ居レリト云フ  
奉天ヨリ吉林、長春へ轉電アリタシ  
公使、北平、南京、奉天、吉林、長春へ轉電セリ

外務省

記録簿

0052

S 1.1.1.0-8 3642

綴附言  
原書  
16.1.2.5  
滿洲事変ニ際ス滿蒙  
独立關係ニ在リ

寫

昭和 6 一六五二〇 暗

本 哈爾濱省

十月十八日後着

大橋總領事

幣原外務大臣

第三五九號

本官發滿洲里宛電報

第三九號

貴電第二八號ニ關シ

清水領事始メ在留邦人ノ當地ヘノ引揚ハ事實ナルモ同領事タケハ都合ニ依リテハ間モナク齊々哈爾ニ引返スヤモ知レス尙同領事ノ言ニ依レハ張海鵬軍ト馬占山軍トハ早晚戰爭ヲ避ケ得サルモノト認メ當地ニ避難シ來レルモノナルモ戰局ハ齊々哈爾及昂昂溪方面ニ限ラレ

日又軍衛  
在留邦人保護及引揚關係  
關係

外務省

0053

S 1.1.1.0-8 3643



貴地ニ波及スルコトナカルヘク現ニ「ブハト」安達等ノ地ハ極メテ  
平穩ナリトノコトナリ  
大臣、奉天ヘ轉電セリ

(添付紙ト)

外務省

6.3

S 1.1.1.0-8

3644

REEL No. A-0077

0359

アジア歴史資料センター

電信寫

秘

A.1.1.0.21-1

昭和6

幣原外務大臣

第三六〇號

清水齊々哈爾濱領事ヨリ

御眞影及機密書ハ三回ニ亙リ長春及哈爾濱總領事館ニ送付保管ヲ

依頼スル信符號ニテ當館ニ必キモ一部及本年一月以降引揚迄

ノ電報ハ之ヲ燒却シタリ

暗

哈爾濱省

十月十八日後着

大橋總領事

並

此の電報は、清水齊々氏に送付され、その内容を機密として扱われ、必要に応じて焼却処分されたものと見られる。

S 1.1.1.0-8

3645

0054

記

寫送先

大臣 電信課長  
次官 亞細亞  
通商 條約 文化 報 計  
會文 人文 情 條 通 歐 亞  
計書 事化 報約 商 米 細

馬

昭和6 一六五〇八 略 哈爾濱 十八日前發 亞  
 幣原外務大臣 十月十八日後着 大橋總領事  
 三六三號  
 齊々哈爾發本官宛電報  
 (缺號)  
 大臣へ轉電アリタシ  
 本官十六日夜館員一同及殘留日鮮人ト共ニ一時哈爾濱ニ引揚ケ當館  
 事務所ハ哈爾濱總領事館ニ置ク  
 前電ノ通轉電アリタシ

記録付  
 3.10.23  
 付受

S 1.1.1.0-8 3646 0055

外務省

六、一〇、一七、一九三〇無線

旅順無線電信所長

次官 (二置) 旅順無線電信所長  
次長 (佐領) 旅順無線電信所長

旅順  
 着發 (八一〇)  
 旅順  
 居る氏  
 馬

0056

第四五番電

滿洲事件報三

既報張海鵬ノ首ハ哈爾濱占領ハ謀報ニテ本日新聞報  
 旅順ニ齊々哈爾濱政府ト張軍トハ一旦各協隊立セリ又黑軍  
 ハ武力抵抗ノ命ヲ受ケ鐵道ヲ破壞セシテ西軍目下戰鬪中  
 ナルガ如ク同地邦人三九名十六日哈爾濱ニ引揚ケタリト

S 1.1.1.0-8 3647

(分類 1110.21-1)

電送第 12666 號  
212669

昭和 6 年 10 月 19 日 前 10 時 10 分 發

電 信 案	洲里へ轉電アリシト附記ノコト	南京へ轉報アリシト附記シ哈爾濱宛ノ分ニハ「滿	(以下前掲電報ノ本文挿入ノコト尤モ上海宛ノ分ニハ	本大臣及露宛電報合第一〇一八號	及王高府	暗	合第一〇六九號	在哈爾濱	在奉天	在上海	邦人引揚ニ因スル件	満州事件ニ因テハ有クハ在留	歐米局長 楊 第一課	管主
						幣原大臣	在哈爾濱	在奉天	在上海	重光公使	林總領事	大橋總領事	綴瀨 閣下 閣下 閣下	名込

電信課長 35 信 案

(原職用紙甲) 國

S 11.10-8

3648

0057

REEL No. A-0077



アジア歴史資料センター

編者附言

原考

A. 6. 1. 2. 5.

滿洲事變之階級

滿洲事變之階級

原稿一併

寫

(分類 A. 1. 1. 0. 2 / - / )

發電 昭和六年十月十九日

滿洲事件ニ關スル件

在「ソ」聯邦 廣田大使

在米 出淵大使

國際聯盟 澤田事務局長

幣原大臣

暗合第一〇七〇號

泰來附近ニ集中セル張海鵬軍約七千ハ嫩江ノ大鐵橋黒龍江省ニ依リ  
燒拂ハレタル爲(泰來附近四個ノ木橋モ同様)江橋驛上下流ヲ迂回  
渡河ノ模様ナリシ一方黒龍江省軍側ニ在リテモ滿洲里駐屯軍中歩兵  
二ヶ大隊及機關銃隊一ヶ中隊ハ十六日午後五時四十分同地發四十貨  
車ヨリ成ル臨時列車ニテ泰來ニ向ケ出動シタル趣ナリシ處齊々哈爾  
來龍ニ派レハ同省主席トナリタル馬占山ハ十五日頃齊々哈爾ニ入城

外務省

記  
在子臣ノ信及引揚ケル

(添付紙ト)

0058

S 1.1.1.0-8

3549

0059

3650

S 1.1.1.0-8

就任シタルモノノ如ク爾來同省政府ノ態度硬化シ十六日朝兩軍ハ江  
橋ノ南ニ於テ交戦シタルヤニ傳ヘラル尤モ張軍ノ兵卒ニハ戰意ナキ  
様見受ケラレ同軍ノ齊々哈爾占領ハ困難ナルヘク此儘ニテ持久狀態  
ニ陥ルノ外ナキ趣ナルカ右事態ハ在哈爾賓張景惠ノ地位ニ不安ヲ加  
フルノ結果トナルヘシ尙今日迄ノ處「ソ」側ニ於テ何等策動ノ模様  
ナシ將又右事態ニ鑑ミ清水領事及館員一同ハ十六日夜同地發哈爾賓  
ニ引揚ケタリ  
(露苑ノ分ニハ「在歐各大使へ轉電アリタシ」ト附記ノコト)

(添付紙ト)

外務省

電信課長

主任 (起草昭和六年十月五日)

十七日(原簿用紙甲)

0060

政一

済

暗	宛	件	管主
合第一〇一八號	在露 廣田大使 奉行 河田部長	綴込名	
		發	
		解車 吉良	

滿洲事變直後齊々哈爾方面ニ於テハ我軍ノ北滿方面出動等ノ風説アリタル爲人心一時不安ヲ呈シタルカ其後哈爾濱出兵中止、洮南出動部隊引揚等ノ報傳ハリタル爲人心稍平靜ニ歸シタリ然ルニ十月二日在洮南遼洮鎮守使張海鵬ヨリ黑龍江省政府側ニ對シ政權引渡ヲ要求

電信案

外務省

3.2

S 1.1.1.0-8

3651

シタル爲三日頃ヨリ人心再ヒ動搖ヲ見ルニ至リ遂ニ二十四日政權引渡ニ關シ兩者間ニ妥協成立セサル爲張ハ愈々省政府乗取ノ決心ヲ固メ部下ヲ率イテ同方面ニ進出スルコトトナリタリトノ報傳ハリタル結果市中極度ノ動搖ヲ呈スルニ至リ同地在留邦人ハ十五日夜内地人領事以下十二名、鮮人六

(原簿用紙乙)

0061

S 1.1.1.0-8

3652

電信案

在露 廣田大使 奉行 河田部長

外務省

寫

發電昭和六年十月十七日

在露 廣田大使  
壽府 澤田事務局長

幣原外務大臣

齊々哈爾方面形勢ニ關スル件

暗合第一〇一八號

滿洲事變直後齊々哈爾方面ニ於テハ我軍ノ北滿方面出動等ノ風説アリタル爲人心一時不安ヲ呈シタルカ其後哈爾濱出兵中止、洮南出動部隊引揚等ノ報傳ハリタル爲人心稍平靜ニ歸シタリ然ルニ十月二日在洮南遼洮鎮守使張海鵬ヨリ黑龍江省政府側ニ對シ政權引渡ヲ要求シタル爲三日頃ヨリ人心再ヒ動搖ヲ見ルニ至リ遂ニ二十四日政權引渡ニ關シ兩者間ニ妥協成立セサル爲張ハ愈々省政府乗取ノ決心ヲ固メ部下ヲ率イテ同方面ニ進出スルコトトナリタリトノ報傳ハリタル結果市中動搖ヲ呈スルニ至リ同地在留邦人ハ安全ヲ期スル爲メ十五日夜内地人領事以下十二名、鮮人六十名ヲ殘シ大部分引揚ケタリ尙滿州里方面ニ於テモ右張軍進出ノ報道ノ爲メ十日頃ヨリ人心動搖シ始

外務省

9.3 S 1.1.1.0-8 3653

記録件名  
在露邦人保護引揚及撤退の件  
（ハルビン方面）

附言  
ハルビンの事  
ハルビンの事  
ハルビンの事

(分. 録. 1.1.0.21-1-1)

メタルモ我居留民ハ未タ殆ト引揚ケ居ラス  
壽府ヨリ露ヲ除ク在歐各大使及米ニ轉電アリタシ

外務省

9.3 S 1.1.1.0-8 3654

寫送先

大臣  
次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

(分類 1.1.1.0.21-1)

昭和6年 一六七七三 暗  
 幣原外務大臣  
 大橋總領事  
 本官十六日夜齊々哈爾發當地ニ避難時局ニ付打合セノ爲直ニ奉天ニ  
 趣キ十九日夜歸哈館員一部ヲ連レ二十日發同夜齊々哈爾ニ歸任スヘ  
 シ  
 奉天、滿洲里ニ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

3655

0063

REEL No. A-0077

0366

アジア歴史資料センター



三三

外務省  
昭和三年十月廿一日

昭和三十二年十月廿一日

北海道廳長官佐上信一

内務大臣安達謙藏殿  
外務大臣幣原喜重郎殿

外事課所在地並愛知福井山口  
福岡大分滋賀山形香川和歌山  
熊本鹿島茨城栃木和歌山  
長野  
各廳府縣長官殿

日支衝突事件 依北海道引揚部人談片

本籍北海道札幌郡琴似村字新川  
住前滿洲分館滿鉄公署

春吉事女

石山 千代 25

右者館道蘭之本月十日附特外才凡四凡

一辨小口道宜通報依一館來者石山付當

時情況聽取之左記一通一有之函答者占

石及申通報候也

記

滿洲事件發生以前及其當時之状況

日滿洲分館三領事館關係者約十五名滿

湯子及は

0064

S 1.1.1.0-8

3557

S 1.1.1.0-8

3556

飲關係者十名其他百三十名が居リ云ハ十九日事件以前及當時割合平穩ナ地方ヲシテ其時ニ支那ノ人排外運動トアリマシカ其運動ノ中ニトモモノ主トシテ男女學生外浮浪人等アリマシテ他商賣ニ有ル支那人一般ニ其商賣ノ關係ヲ多ク知ル暴行トドシ加ヘル事トナリタ

事件發生以後ノ状況

四月十九日事件發生以來支那新聞ニテ支那官憲ニ压迫スル商品百貨ヲ支那人ニ賣ラナクテリシタリテ手初メニ「煤彈」ヲ投下セラルトカテ公署ノ被雇支那人等「自分等ハ直光ニ

殺セルト云フシタリ「不」ハ増シ来ニシタリ一方國境ヲ露兵ガケケル附近國境迄駐軍シテ居ルトカ種々流言ガ能ク不安ガ増ス計リテシタリ男ノ人達領事館ニ全部集合シ引揚方ニ法相談ヲシシタリ海邊ニセテシテ光ニシテ男ニ最後迄立留リテ集テテカセ達ニ「日」早ク引揚ケタイモノ計リテシカ下五日正午過キ領事館ヨリ引揚命令ガ出シシテ社員ニ名ニ守ラレハ公署家族十三名今日午後一時出奔シ奉天長春朝鮮至由テ販國ニシテ詳シイ事「私等ニ判リ云フ」

0065

S 1.1.1.0-8 3558

S 1.1.1.0-8

3559

S 1.1.1.0-8



大臣  
次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

寫送先

公使、北平、奉天、吉林、滿洲里ニ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8 3661

0067

昭和6 一六九九一 略  
幣原外務大臣  
第三八八號  
齊々哈爾發本官宛電報  
合第四一號  
大臣へ電報アリ度シ  
第七九號  
十六日夜以來哈爾賓ニ避難中ノ本官以下館署員一同二十日夜歸館シ  
タリ  
哈爾賓ヨリ公使、奉天、北平、吉林へ轉電アリ度シ

外務省

S 1.1.1.0-8 3660

0066

哈爾賓 本  
十月二十一日後發  
二十一日後發  
大橋總領事

記録



後

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

分類 A.1.1.0.2/-1

昭和6 一七八三六 暗

哈爾濱 十月卅一日前着

幣原外務大臣

大橋總領事

第四五五號

齊々哈爾濱本官宛電報

合第六八號

大臣へ電報アリタシ

第九五號

奉天宛電報第二五九號ニ調シ

内地人ニ付テハ

一當管内ヨリ他地ニ引揚ケタルハ男百二十九女百十二

記録

亞

0068

3662

S 1.1.1.0-8

外務省

ニ現地ニテ安全地帯ニ收容セルモノナシ

三、救護ヲ要スル者ナシ

四、他管内ヨリ當管内ニ避難シ來レル者無シ

鮮人ニ關シテハ

五、管内ヨリ他地ニ避難シタル者ハ男二百三十五女二百二十一

六、他管内ヨリ當管内へノ引揚者ナシ

七、鮮人保護ノ爲當館ニテ既ニ支出シ又支出ノ必要アル費用ハ大約往

電第八七號ノ通ナリ

八、引揚ヲ命シタル當地及昂々溪ノ鮮人貧窮者男百九十六女百二十一

ニハ哈爾濱迄ノ三等汽車賃ヲ給與シタリ

次ニ

0069

3663

S 1.1.1.0-8

外務省

REEL No. A-0077

00770

アジア歴史資料センター

丸内鮮人中敗殘兵等ニ依リ生命財産ニ危害ヲ加ヘラレタル者無シ  
哈爾濱ヨリ奉天ニ轉電アリタシ  
奉天、哈爾濱ニ轉電セリ

外  
務  
省

S 1.1.1.0-8

3564

0070

REEL No. A-0077

0371

アジア歴史資料センター

電信寫

昭和

幣原外務大臣

第五三〇號

齊々哈爾發本官宛電報

第五〇號

大臣へ電報アリタシ

第一二六號

當地平穩在留内鮮人無事

哈爾濱  
本省

十一月九日

大橋總領事

証

S 1.1.1.0-8

3665

0071

REEL No. A-0077

アジア歴史資料センター

寫送先

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

(分類 1.1.1.0.21-1)

昭和6 一九三〇二 暗  
幣原外務大臣  
第五七二號  
齊々哈爾發本官宛電報  
第五四號  
大臣へ電報アリタシ  
第一三八號  
貴電第一六號水田ハ東京ニテ罹病療養中ノ旨實父ヨリ申出アリタリ

昭 和 6 一 九 三 〇 二 暗  
本 省 哈 爾 濱 十 一 月 十 三 日 後 着  
大 橋 總 領 事  
亞 二

記録係  
在り  
ハ  
ハ  
ハ

外務省

S 1.1.1.0-8

3567

0073

寫送先

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

(分類 1.1.1.0.21-1)

昭和6 一八九九二 暗  
幣原外務大臣  
第五五四號  
齊電第九六號ニ關シ  
早川正雄ハ目下當地北滿「ホテル」ニ滞在中ナルニ付御來電ノ趣本人ニ轉知シ置ケリ  
齊々哈爾へ轉電セリ

昭 和 6 一 八 九 九 二 暗  
本 省 哈 爾 濱 十 一 月 十 一 日 後 着  
大 橋 總 領 事  
亞

記録係  
滿洲支那衝突事變關係一件  
在り  
ハ  
ハ

外務省

S 1.1.1.0-8

3566

0072

録子  
何  
何

秘

昭和6

暗奉天  
本省

十一月十四日後着

人、亞

幣原外務大臣



林總領事

第一二八六號(至急)

本官發齊々哈爾宛電報

第四六號

車側ニテハ十四日朝林少佐ニ對シ引揚方電命セル趣ニ付貴官モ御見  
込ニ依リ適宜引揚ケラルル方然ル可シト 思考ス爲念  
大臣、支、哈爾賓へ轉電セリ

電信寫

S 1.1.1.0-8

3568

0074

REEL No. A-0077

00374

アジア歴史資料センター



5

寫送先

大臣 電信課長  
次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

分類A. 1.1.0.21-

昭和6 一九五七三 暗 哈爾賓 十五日發  
本 省 十一月十五日後着 亞

幣原外務大臣  
第五九四號

齊々哈爾清水領事以下館員並ニ林少佐滿鐵公署員等十三名全部十五  
日朝當地ニ引揚ケ來レリ  
公使、奉天、滿洲里ニ轉電セリ

清水 一  
市川 一  
早崎 一

外務省

記録件  
滿洲日支衝突再變關係一件  
在留邦人、保護及引揚ケ係

0075

S 1.1.1.0-8 3669

大臣 電信課長

次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

分類A. 1.1.0.21-1

昭和6 一九六二八 暗 哈爾賓 十五日發  
本 省 十一月十六日後着 亞

幣原外務大臣  
第五九八號

齊々哈爾發本官宛電報(十四日後)  
合第一四五號  
大臣ニ電報アリ度シ  
第一四五號

我軍ハ明十五日頃ヨリ江省軍ニ對シ攻撃ヲ開始シ進テ當市ニ入城ス  
ル豫定ナルニ付本官ハ本十四日夜館員林少佐及在留民ト共ニ一時哈  
爾賓ニ引揚ケルコトトシタリ

大橋總領事

外務省

S 1.1.1.0-8 3670 0076

寫送先

哈爾濱ヨリ公使、北平、奉天、吉林、長春ニ轉電アリ度シ  
奉天ヨリ鄭家屯ニ轉電アリ度シ  
公使、北平、奉天、哈爾濱、吉林、長春、滿洲里、鄭家屯へ轉電セ  
リ

外務省

S 1.1.1.0-8

3671

0077

REEL No. A-0077

0376

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

昭和6

哈爾濱 本省 十一月十六日後着

亞

大橋總領事



幣原外務大臣 第六〇一號 (至急)

本官發滿洲里宛電報

第五七號

「ブヘト」最後ノ在留邦人同地民會長大橋今十六日朝當地ニ引揚ケ  
來レル處同人ノ談ニ依レハ今朝午前一時昂々溪通過ノ際殷々タル砲  
聲聞ヘ且同地ニ於テ多數支那兵列車ニ乘込ミ來リ邦人乗客ヲ物色セ  
ルニ付同人ハ早速毛布ニ包マリ難ヲ免レタル極ナリ右ノ次第ニ付貴  
地邦人婦女子見送ノ爲長春ニ赴キ本日午後三時發費地ニ向ケ出發ノ  
豫定ナリシ國島外二名ノ巡查ハ一時出發ヲ延期セリ

(ハルビン)

S 1.1.1.0-3 3672 0078

REEL No. A-0077

アジア歴史資料センター

1.1.0.21-1.)

16350 號

6年11月20日 時0分

(事件甚る又辨)

三浦

電 信 案	往電第一一一號ニ關シ	宛 在哈爾濱 大橋總領事	件 滿洲事件ニ關スル件	管主 歐米局長 任主 第一課	電信課長
暗	第十九日永井次官「メ」代理大使ニ申入レタル處「メ」ハ	第一一九號	綴滿洲の支那領事官等及在官、在官、及引揚ノ件	昭和六年十一月十九日	(原議用紙甲)
電 信 案	支那側敗殘兵力興安嶺以西ニ遁入スルカ如キコトハ萬ナカルヘク御	幣原大臣	發		
外 務 省	心配ノ必要モナカルベシト述ヘタルニ依リ次官ハ同方面在留邦人カ				

3.2

S 1.1.1.0-8 3674

0080

送第 15985 號  
15986

6年11月7日 時0分

付  
心

電 信 案	ハシト 附加ノコト	宛 在米大使 佛聯 澤田 長	件 ハシト 附加ノコト	管主 任主	電信課長
暗	以下右電報中 轉電先ニ因スル部	發 幣原大臣	綴	昭和六年十一月十九日	(原議用紙甲)
電 信 案	佛聯 免シハ 在改各大使ハ 轉電アリ				
外 務 省	哈爾濱 本大臣 免電報 初九四号				

3.2

S 1.1.1.0-8 3673

0079

電  
信  
案

外  
務  
省

訓令トシテ滿洲里へ轉電シ露、支、北平、奉天へ轉電アリタシ

(原議用紙乙)

8 1.1.1.0-8

3676

0082

電  
信  
案

外  
務  
省

ラハ電報セラレ度シ

置カレ度ク尙特ニ當方ニ於テ申入レ置クコト可然ト認メラルル點ア

ソノ本報内へ

テハ右御含ミノ上狀況ニ依リ貴地「ソ」官憲ト必要ナル打合ヲ遂ケ

ヲ圖ルヘク特ニ電報シ置ク迄ノ必要ナカルヘシト答ヘタル趣ナリ就

「メ」ハ右様ノ場合ニハ間違ナク現地「ソ」官憲ニ於テ充分ノ便宜

貴方ヨリ關係ノ向ヘ豫メ電訓シ置カルレハ好都合ナリト述ヘタル處

一般支那人ノ壓迫ヲ受ケ引揚ノ必要ヲ生スル場合モ有リ得ヘキニ付

(原議用紙乙)

8 1.1.1.0-8

3675

0081

REEL No. A-0077

0375

アジア歴史資料センター

いふより、解は云々、見、拜し、物、之、御、  
考、甚、違、陽、操、下、の、目、由、之、以、以、  
方、と、塔、多、し、御、之、也、其、物、中、の、以、以、  
の、引、上、之、者、又、其、書、終、止、し、る、人、を、  
公、子、と、信、す、其、物、多、く、信、之、る、者、  
支、子、と、信、す、其、物、多、く、信、之、る、者、  
末、等、三、八、に、於、て、好、者、大、に、以、以、  
し、其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、

S 1.1.1.0-3 3678

1.1.1.0.21-1  
御、之、  
四、系、之、年、を、以、て、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、  
其、物、多、く、信、之、る、者、好、者、大、に、

S 1.1.1.0-3 3677

滿洲日支衝突事變關係一件  
在香和合復引約千條

0083



避難地変更願

今回事変、為、妻マシ、佐藤粉藤津新、浦井  
字飯田吉口利一、方、避難地朝セシ、ハ、願出  
新可、得、之、處、本人、私事、都合、上、親戚、之、為、  
遼陽、地、極、市、町、回、野、廣、次、方、立、寄、り  
其、依、滞在、之、内、地、之、避難、地、ル、以、前、記、遼、陽、  
之、避難、旅行、之、変更、方、特別、所、詮、議、ヲ、以、テ、  
即、新、可、相、成、宜、以、願、奉、願、也、

昭和五年十月二十日  
在者、哈、爾、濱、市、領、事、館、警、務、課、長、勤、務、

外務省出書

東嘉一郎

在齊、ハ、哈、爾、濱、  
領、事、館、清、水、八、百、一、殿

S 1.1.1.0-3

3580

S 1.1.1.0-8

3579

0084